

第6回ワクチンチーム会合（全国知事会との意見交換）

《開催要領》

- ・開催日時：2021年11月30日（火） 15：45～16：15
- ・参加者：堀内 詔子 ワクチン接種推進担当大臣
田畑 裕明 総務副大臣
平井 伸治 鳥取県知事（全国知事会新型コロナウイルス緊急対策本部本部長）
内堀 雅雄 福島県知事（全国知事会新型コロナウイルス緊急対策本部本部長代行、同副本部長）
濱田 省司 高知県知事（全国知事会新型コロナウイルス緊急対策本部ワクチンチームリーダー）

《議事概要》

（堀内大臣）

- ・全国知事会ははじめ自治体の皆様においてはワクチン接種に御尽力いただき、御礼申し上げます。
- ・追加接種については、接種間隔の例外の取扱い等しっかりと周知する。
- ・オミクロン株のワクチンの効果についても、引き続き状況を注視してまいりたい。
- ・忌憚ない意見交換を行い、追加接種に向けて、都道府県と国の協力関係を一層深めていきたい。

（田畑副大臣）

- ・全国知事会を含め、自治体の皆様方には感謝している。総務省に新型コロナ対策における地方連携推進本部を設置し、自分は副本部長を務めている。追加接種においても、地方自治体の皆様にしっかり寄り添っていく。

（平井本部長）

- ・今、オミクロン株がナミビア滞在の方で国内初確認されたという報道があっている。
- ・総理が水際対策を強力に展開されることを表明されたが、地方で保健衛生を担当している現場としてもその決断をサポートしていきたい。
- ・どういう風にスクリーニングをかけて検査をしていけばよいのか、また、ワクチンがどう効果を上げていくか、我々としても情報を得ていかなければならないし、それに即した機動的な対処をしていかなければならない。
- ・着実に追加接種を進めていくことがオミクロン株の1つの防御措置にもなるだろうと考える。
- ・市町村の現場においてもファイザーとモデルナの半分ずつの供給に困惑している様子。交接種の効果やモデルナの有効性についてできるだけ早く周知頂きたい。
- ・ファイザーの確保が難しいということであれば、オミクロン株も出てくるわけであり、できるだけ早く3回目接種を終えるためにもモデルナの活用をお願いしたいと政府からも訴えていく必要があるのではないか。そういうことがあれば、我々も住民に勧めやすい。

(濱田ワクチンチームリーダー、内堀本部長代行)

- ・配布資料に沿って説明。

(堀内大臣)

- ・交接種の有効性を含め、早期かつ明快な情報発信に努める。
- ・小児接種についても、準備をよろしく願いたい。

(田畑副大臣)

- ・総務省として、関係府省としっかり連携をし、自治体の皆様方の体制をお支えする。国民の皆様方に信頼されるような丁寧な情報発信を、総務省としてしっかり意識してまいりたい。
- ・今後も、忌憚のないご意見をいただきたい。

以上